常磐文藝

雄野勇詩集『顔と樹』を讀みて（二）

木川田信

將來の進展すべき過程は何處か。辨證法的にそれは明に「山の詩」の内部にある十分に、そしてそれが「直行車」へだ。この詩集に收められた「直行車」は未だこなれてゐない。詩は觀念論に狹められてはならないむしろ「直行車」は「山の詩」裡に躍動してゐる。

作品中一番品位あり形式的にしつくりしてゐるのは「樹」だ、これは完全に完成された詩だ。

「顔と樹」はあくまで土台だ、あらゆる芽を包んでゐるかも知れないが、その芽の各々に誘惑されるのは結局行き詰りに至ることを恐れる。變化と多才とを見せて内容と力とが抜けた空つぽのものが生れるのは危險だ。その危惧がなければそれは偉大なる作家だ。ひたすらと人生の凡ゆる波を描きつぶすであらうから。

作者はどこまでも「山の詩」の芽を「直行車」まで成長さすべきで、その力强い發展は約束さるべきものであらう。

徒に暴言をはいたが、一讀、その感想に筆を飛ばしたのみ。（をはり）

出た!!!
特價ワイシヤツ
今スグ
綿ネル一圓
純毛ラクダ三圓五十錢
素晴らしい賣行！
ネクタイ、シヤツ、カラー
靴下
冬の御用意は
平四丁目
ツルヤ

御進物には
ヤマフルの商品券が一番
醬油味噌
たひら正宗
鰹節食料品
鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町
電話（營業部一〇番
（釀造工場二七番

耳鼻咽喉科專門
場所（舊診療所裏通り）
合津醫院
平町仲田町（電話五五九）

季節向營業開始
親子丼
なべやきうどん
平二丁目
みたいや
電話三一九番

外科
花柳病
專門
本村外科醫院
入院自炊の便あり
平町五丁目橋際
電話三〇九番

BISHINGAN
子宮座藥
美神丸
使用した其の日からスグキク婦人病自宅療治藥、美神丸を未だシラナイ御方がありますが永らく子宮病にて百藥の効なく御困りの方、處女にてもコシケに惱む方は安全にて人に知らるゝ心配もなく治療の目的を達します　定價一週間分四十錢　十週間分參圓五十錢
平町古鍛冶町（縣社ノ下）一手販賣部
無代進呈の方法もあります
阿康藥店
（電話四四番）

貴金屬
時計
眼鏡
レコード
針先各種
高級ビアス號蓄音器特約店
金光堂時計店
平町五丁目（電話七三六）
時計蓄音器修理は早く良く

頭痛に即効藥
荒川のノーシン
特約店　大平屋藥店
電話六四二番

素晴しい好評!!
婦人世界特選（圖案ハ全國一流ノ大家）
壹萬五千圓大懸賞付（空クヂナシ）
足利本銘仙近代調銘仙大賣出し
婦女界推奬（名作カラ暗示ヲ得タ）
大懸賞々品付空クヂナシ
八王子高級文藝銘仙大賣出し
特長一、何レモ最高級ノ糸最高級ノ染料　生地ハシナヤカデ非常ニ丈夫デス
一、藝術味溢レル柄ハ揃ヒニテ秋流行ノ先驅ヲナス逸品デス
一、柄ガ良ク、巾ハ充分デ、丈ガ長ク、而シテ廉價ナ上ニ興味深ク大懸賞景品付デス
平町鍛冶町
吉田屋呉服店
電話壹武壹番
詳細ハ店内並ニ婦女界婦人世界十月號ニ發表シテ御座イマス

外科
一般外科
泌尿科
婦人科
醫學士　海津俊一
×光線科　木下寅一
院長　新妻由五郎
天堂病院
平田町電四七五

平町紺屋町（縣社通り）
美味評判
イワキ食堂
オの部電話四六〇番

大正十二年十一月十八日　第三種郵便物認可
常磐毎日新聞（第一千七百二十四號）（一）

日刊
發行兼編輯人　川崎文治
印刷人
本社ト同番地（電話六三〇番）
印刷所　常磐毎日印刷所

十月廿二日夕刊

定價　一部金貳錢　一ヶ月拾錢
郵税五厘
廣告料　五號十二字詰一行（五十錢）
休刊日　日曜大祭日
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社
電話六三〇番

野崎、若松兩縣議 反目いよ〳〵激し

縣參の椅子を中心にして 紛爭益々露骨化す

縣參事會員の椅子爭奪から石城民政黨の勢力爭ひが漸く表面化せんとしてゐるが野崎、若松兩縣議の間が

惡化す る問題が最近事實の上になつて現れて來た、それは若松縣議等が提出した平、好間間の自動車路線の出願で好間の路線は現在石城郡内においては最も有望な路線に數へられてをり、若松等はこの路線の權利をとるために

願書を 提出したのであるが野崎氏は自動車協會支部の副支部長を勤め支部では一路線二名以上の營業者は將來許可しない樣に運動する事といふ決議をなし野崎氏はこれを實現させ或は持續させる責任があるわけで現在好間軌道會社と三井自動車部が各六臺の

許可を 得て營業してゐる同路線に更に營業者が增すことは組合の申合せを破ると同時に營業者の競爭を激烈にさせるものであると若松氏等の出願に對して正面から反對を表明したもので之には縣保安課もいづれに軍配をあげてよいか困つてゐるらしいが

事實上 から見れば野崎氏等の反對運動が正當なので好間路線の營業者は何れも野崎氏と共に反對の運動をなしてゐる、野崎對若松派の勢爭爭ひは屢々問題となつて論議されてゐる處であつたが從來は何れも裏面における暗鬪であつて縣參事會員の椅子を中心に愈々

兩者が 正面衝突をなすものと見られてゐた矢先この問題が起きたので之が如何に解決するかは頗る注目されてゐる

訓盲院の 校庭に盛土

酒井氏の厚意

平町磐城訓盲院の校庭は石炭殼にて埋立てをした爲め風の日などには炭粉が飛散し盲生の衛生上にも憂慮すべき狀態を呈するので此事を聞いた醫師酒井國三郎氏は大いに同情し請負師佐々木健一郎氏と圖つて眞土を盛り上げて地均し非常に感謝されて居る

磐城丸の 秋刀魚漁況

魚脚が早い

小名濱水產試驗場の磐城丸は十五日午前八時秋刀魚漁況調査の爲め出帆廿日午後十一時小名濱に歸帆したが其報告に依ると十七日金華山東四分の三北百八十浬沖合附近に二回に亘り秋刀魚四萬五百尾十九日には約一萬尾を漁獲した此海區は魚群多かりしも魚脚が速く揚網後附近の海區を捜したが魚影を認めなかつたと尙ほ中の作の德榮丸は女川より出漁大舟渡沖廿四時走り位の海區に於て十萬尾の漁獲を見たと

二町議 失格の對策

町會を開いて

平町では近く町會を召集して町會議員選擧の異議申立てが縣參事會に於て裁決の結果坂本、綠川兩町議が失格と決定したので、曩に此の異議申立について否決をなした平町會としては當然對策を講ぜねばならず、此の對策について協議をなす由である

町村長會も 承認せん

磐銀の整理案

石城公金預金町村委員會は去る十八日平町に開催したが來る二十四日午後一時より平町訓盲院に石城町村長支會總會を開き磐城銀行單獨開業整理案承認の件について協議を行ふが町村長會では承認する模樣である

縣道編入 陳情

赤井の信者

石城郡赤井村を中心に赤井岳の信者連は旭純榮師が眞言宗智山派の管長に榮進したのを機會に數年來問題になつてゐた磐越東線小川鄕驛から赤井岳山頂に至る道路を縣道すべく若松縣會議員を先頭に立て近く小柳知事に陳情書を提出することになつた

延期の スポンヂ野球

愈よ來月十日

既報平町野球聯盟主催石城スポンヂ野球大會は雨の爲め延期されて居たが來月十日午前八時から磐中球場及び平第一校庭にて開催さる事となつたが前回の優勝チームは湯本倶樂部にて本年の優勝旗爭奪こそ見ものであらうと

今曉 柳町の火事

原因は漏電

今曉午前一時半頃平町柳町牛乳搾取業若松武一郎方作業場から發火し大事に至らんとせるを家人が發見附近に急を告げた爲め多數走せ參じ屋根を二坪燃え拔いた計りで幸ひ大事に至らず鎭火したが原因は漏電であると

親戚同志が 境界爭ひ

遂に告訴沙汰

石城郡江名町字小畑作山鳴七(五二)の宅地と隣家作山善助(五七)の畑地は隣接して居る爲め鳴七方の鷄が善助方の畑地を荒すので境界に柵を設けたが其柵が幾分善助方の畑地に食ひ込んで居るといふので憤慨し兩名は親戚であるのに不幸があつても出入りせぬ程になつたが去る十八日には善助が盛んに怒鳴り散しての末に境界の柵を叩き壞したので此程鳴七は平署に告訴を提起したと

家庭欄

あつさりしたちらし壽司(下)

細いんげんはなゝめに薄く切て洗ひ鹽をふりかけて一分間をき後沸騰湯に重曹をふりいれて火よりおろします、白みの魚肉の殘りは三つ位にきりて熱湯にいれまして五六分間茹笊にあげておきます、一人前宛に丼または皿に盛分ためしの上にもみ海苔をふりその上に椎茸等を配合よくとりいれておいしさうに見えるやうに仕上げます

小炭礦を救濟する

木曜會が基金を利用して

常磐地方に鑛區を有する炭礦各社の販賣部から組織されてゐる木曜會は基礎やうやく鞏固にならうとしてゐるが、同社では昨年八月末から加盟各社の

送炭高 一噸に對し二錢の基金積立を賦課實施し最近にその額は五萬圓餘に達したとのことである、そして右基金積立の主意は將來同會が加盟各社の石炭を共同販賣せんとするもので近く噸當り

徵收額 も五錢に値上げし一層充實を圖らんとしてゐるが差し當り同會では現在額を利用して專ら常磐地方に介在する小炭礦を統制しやうと目下折角計畫中である、すなはち從來常磐地方にはいはゆる小炭礦と曰せらるゝものは六十ばかりあつたが、炭界不況の結果整理されたり

事業を 中止したるもの續出し現在引續き經營してゐるものは僅に十四、五を數ふるにすぎず、是等の採炭高は大した事なきも債權者が貸金回收難のため品質の惡いもの比較的高値で引き取るやうな破目に陷つたり或は小炭礦主が資金難のため良品を非常に安く賣り捌き、そのため市場を亂すなど、かく多い

弊害に 鑑み、今回木曜會では前記の現在基金をこれ等小炭礦經營者に資金として融通したり、さらにその石炭を品物に相應せる値段で引取りこれを同會で販賣し單に小炭礦主の利をはかるばかりでなく、木曜會の基金をも增加させやうと目下

當事者 は非常に意氣込んでゐる、なほ金融の主體は同會が法人でないから同會社に代表させるか若しくは特別委員會を設けて管理させるかは貸付金額の限度利率などと共に追つて具體的に決定を見るはずであるが右は上述の如く木曜會の共同販賣への一歩として關係方面から非常に注目されてゐる

平稅務署が 納稅表彰の

方法を改正

平稅務署では國稅納附の成績優良なる町村並に納稅組合に對し隨時表彰してゐるがこれでは表彰の効果も薄く隨つて納稅の好成績を收める上に影響するばかりでなく統一を缺く虞がある として協議した結果將來は一年一回(毎月四月同署で開かれる各町村稅務主任會議當日)とし納稅完納の年限を三年、五年、十年、十五年、二十年間に改めその上納稅の實績を精密に調査の上成績優秀なる町村並に組合等に限ることにし尙今回は各個納稅者もその範圍に包含することに決し監督局の許可を得て實行することになつた

明日の 天氣豫報

朝曇り後晴